

サテライトシェアオフィス「東急 NewWork」との協業開始 ～東急が運営するシェアオフィスと空飛ぶ電車 Peach で多様な働き方を提案～

- ・ 働く場所と移動の選択肢を広げることでリモートワークの生産性を向上
- ・ 地方への人流創出で地域活性化に寄与
- ・ 東急 NewWork 会員様向けに Peach の航空券を提供

Peach Aviation 株式会社(以下:Peach、代表取締役 CEO:森 健明)は、本日、東急株式会社(以下:東急、取締役社長:高橋 和夫)が運営する法人企業相乗り型サテライトシェアオフィス事業「NewWork (ニューワーク)」(以下:東急 NewWork)との協業を開始すると発表しました。

5th Anniversary

NW スマートフォンアプリに配信 /
10月スペシャルクーポン
(11月配信)

peach

100 stores Open

国内線片道航空券
1名様分プレゼント!

配信対象 10月中NewWorkを10日以上ご利用いただいた方

予約期間 配信後～2021年11月30日(火)まで

搭乗期間 配信後～2022年1月31日(月)まで
(2021年12月25日～2022年1月10日の搭乗期間は対象外)

※お預け手荷物の申込・座席指定等をご希望の場合は別途有料でお手続きが必要です。

詳しくはNewWorkホームページの「NewWork公式アプリ」をご確認ください。 <https://www.newwork109.com/app/>

東急 NewWork は、新しい働き方への対応、ワークライフバランスの推進、生産性の向上、通勤ストレスの軽減など、より快適で働きやすい環境の実現を目指し、業界最大規模の国内 250 店舗以上を展開し、大手企業を中心に 450 社以上の企業が導入、30 万人超の会員がいます。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会環境、人々の価値観やライフスタイルは大きく変わりました。リモートワークが一般的になるなど働き方も変わりましたが、一方で新しい働き方はその生産性が課題になっています。加えて、地域経済の再生や活性化の解決にも、より一層力を注がなければいけない状況になるなど、新型コロナウイルス感染症の影響で様々な課題が浮き彫りになっています。

国内線 33 路線を運航する Peach は、国内 250 店舗以上を展開する東急 NewWork とタッグを組み、第一弾として、東急 NewWork を 2021 年 10 月の対象期間中に 10 日以上利用する会員様に Peach の片道航空券を提供する取り組みを実施します。働く場所と移動の選択肢を増やすことで生産性向上の実現にむけた新しい働き方を提案するとともに、地方への人流を創出することで地域の再生や地域活性化に寄与してまいります。

また、今回の取り組みを皮切りに Peach は、今後も東急と連携し新たな取り組みを検討してまいります。

<詳細>

開始時期:2021年10月1日(金)から

対象者:東急 NewWork を2021年10月1日から10月31日までの間に10日間以上利用する東急 NewWork 会員様

内容:Peach の片道航空券を提供

対象路線:国内線全路線

対象搭乗期間:2021年1月31日まで(12/25-1/10を除く)

航空券の入手方法:11月10日頃に対象者に、東急 NewWork アプリ内の「クーポン」画面に案内が通知され、そこに表示される専用フォーム URL から航空券を申し込み

東急 NewWork : <https://www.newwork109.com/>

Peach について(www.flypeach.com)

Peach は、2012年3月に関西空港を拠点として運航を開始しました。新千歳、仙台、成田、関西、福岡、那覇、そして中部国際空港の7か所を拠点空港として、33機の機材で国内線33路線、国際線17路線を運航しています。なお2021年10月31日より、福岡ー石垣線に就航予定です。